

今年度最後の参観日が昨日終わり、3学期も残り少なくなってきました。昨日の参観授業では、4年生と5年1組が国語の授業でした。4年生は自分達が作ったポスターを使って調べたこと・考えたことを報告していました。お家の方も参加し、児童に質問したり感想を伝えたりしてくださっている姿が見られました。5年生は「6年生に贈りたい漢字一字を考える授業で、家庭学習で考えてきた漢字一文字を全て黒板に貼り、6年生をイメージし、思いを伝え合っていました。「導」「逞」「佳」「切」「黙」・・・どんなイメージで選んだのか想像できますか？私には、思いもよらない漢字も出ていたので、とても気になりました。その漢字を選んだ児童の思いを聞くと、なるほどと納得できました。6年生に対してのイメージって、いろいろあるんですね。

今回は、今城先生の授業を紹介します。元気いっぱい、気持ちの良いあいさつから始まった授業でした。

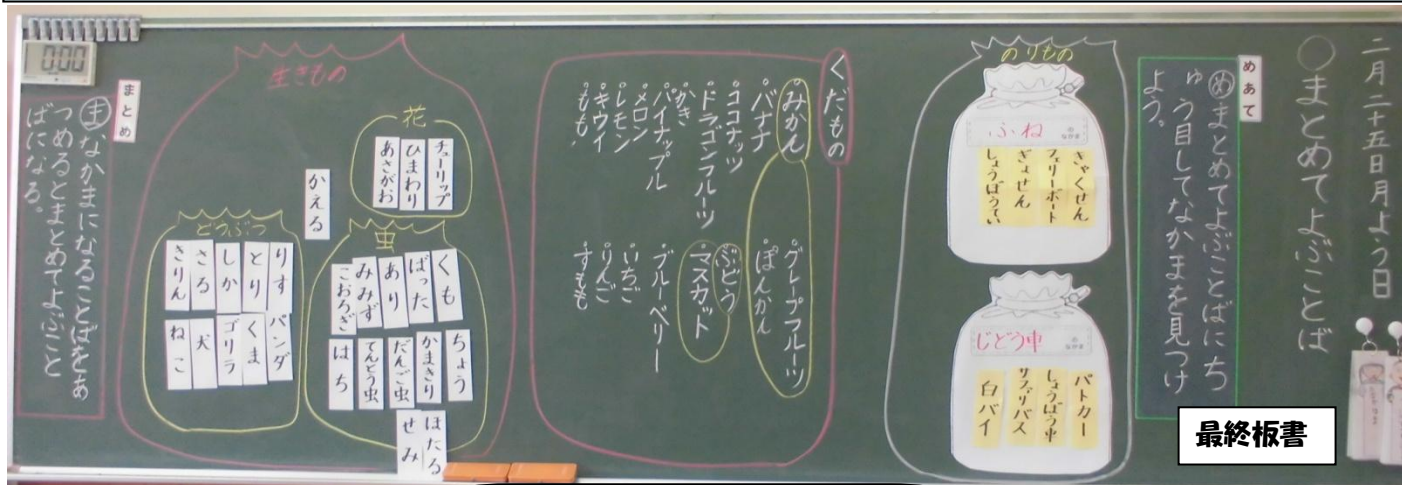
見て見ての授業より

2月25日(水) 2校時 国語科 1年2組

今城 知亜希 教諭

単元名「まとめてよぶことば」

本時の目標：まとめて呼ぶ言葉や仲間になる言葉を集め、語と語の関係について理解を深めることができる。



最終板書

授業の主な流れ



このふくろにことばをまとめてみました。
「きゃくせん」「フェリーポート」「ぎよ...

あっそれわかる！「いろいろなふね」にでちゃった。！



①授業の導入でまとめるということを「巾着袋」でイメージさせています。この後さらに大きな巾着袋を使って、「ふね」と「じどう車」を「のりもの」ということばでまとめられることも説明しました。

④前のホワイトボード上にも児童と同じようなカードが貼ってあり、それを全体でまとめていきました。「花」や「虫」「動物」の仲間に分けていきますが、「かえる」はどの仲間か疑問が生まれ・・・最後にカード全部を「生き物」でまとめました

事後研より

- 巾着袋を使って説明したりカードを封筒に入れておいて全員に配り思考させたりするなど、アイデアがよかった。
- 教材研究を一緒に行い、板書の工夫もできた。巾着袋は「国語シート」からヒントを得ている。
- 「どうぶつ」にいぬとねこを入れなかった児童に理由を聞き返したのがよかった。なぜそう考えたのかが明らかになり、みんなで再度考えることができた。
- 児童に配ったカードは工夫の余地がある。並べている間にぐちゃぐちゃになってしまった児童がいたり全部を並べきれぬ児童が少なかったことから、数を減らしたり、小さなボードに貼れるように磁石を付けたりするとよいのではないか。
- 個人に封筒を配るのではなく、ペアに配ることで自然と対話が生まれ考えを深めることができたのではないか。
- ホワイトボードのカードを全体でまとめていくのを少しやってから、個人の封筒を配り思考させるという流れにすると、もっとたくさんの児童が仲間分けできたのではないか。ホワイトボードの言葉も厳選する必要があると思う。

授業者のリフレクションより

- 資 授業の終わりに行う適用問題で児童ができたかどうか確かめなかったが、肝心の適用問題までできなかったため、ゴールまでしっかり行き届く授業を構成していきたい。
- 主対深 仲間分けをする際に個人ではなくペアでさせることで学び合いができるので、どこでペアを入れるのか考え、深い学びにつなげたい。
- 言 仲間分けをさせる言葉の中に、何の仲間に入るのか迷う言葉があった。(かえる)あまり深入りするのは良くないが、はっきり答えを出して終わるようにしたい。
- 感 適用問題をたくさん用意し、そこでどれだけできているか見取ろうと思っていただけに、時間内で終われなかったことが悔しい。本時のゴールに到達するように、授業を組み立てていきたい。



②「くだもの」にはいることばをノートにたくさん書いています。個人思考(2分)→全体共有

③ことばのカードがたくさん入った茶封筒を各自に配り、まとめて呼ぶ言葉を考えながら仲間分けし、机の上に並べる作業をさせました。



⑤「まとめ」をノートに写して授業が終わりました。

低学年の児童を夢中にさせる様々な手立てを講じることで、全員の児童が、集中して授業に取り組んでいました。アイデア1つで授業が楽しくなりますね。今城先生、公開授業ありがとうございました。